



児童会選挙の向こう側

大明小学校では、令和7年度の児童会役員を決める児童会役員選挙が行われました。新6年生会長1名、新5・6年生副会長各1名の3名を選挙によって選ぶことになっています。各学級から自由立候補制により候補者が選挙活動を行い、10名が立候補しすべての役職において選挙となりました。最近は多くの学校で、立候補者が少なかったり、男子からの立候補がなかったり、ちょっと前に比べると、学校内での選挙活動にも大きな変化がみられるようになりました。しかし、大明小学校においては男女の区別なく、多くの候補者が立候補したことに大きな期待と活気を感じることができました。選挙なので否応なしに結果が出ます。もちろん当選した候補者もいれば、落選した候補者もいます。しかし、全員が「良い大明小学校にしたい」という強い思いで選挙活動を行ってきました。そのやる気と強い思いを持ち続け、今後の学校生活にも生かし、より良い大明小学校づくりに尽力してほしいと願っています。そして、今までの選挙活動を支えたすべての子供たちに、感謝します。ありがとうございました。

さて、選挙も終わり学校生活では、次年度に向けた準備が始まります。新児童会執行部の編成、6年生を送る会に向けての取り組み、そして、今年度の児童会のまとめ等、令和6年度をまとめ次年度につながる取り組みへと移行していきます。どんな社会生活においても、毎年やることはそんなに大きく変わりません。それは大人の生活においても同じではないでしょうか。まして、学校生活においては尚更です。しかし、「去年と同じ」でいいのでしょうか？やることは同じでもその内容、目的等については必ず見直しが必要です。もちろん結果として「去年と同じ」でもいいと思います。大事なことは「見直す」ことです。そのことを通して見え方が変わったり、本質が見えてきたりすることがあります。常に進化し新しいことへの挑戦は大切です。「自分らしさ」を大切に、令和7年度ならではの取り組みに期待しています。今回の役員選挙を受け決まる新児童会執行部と、新6年生がリードする令和7年度の大明小学校。今からどんな大明小学校になるのか楽しみです。きっと、今年以上に全校児童が楽しく、満足できる学校になると思います。そして、保護者の皆様、地域の方に支えられ地域に誇れる学校となるよう、全職員も一致団結し子供たちを支えていきます。

1年の締めくくりを大切に

2024年も残すところ1か月余りとなりました。この1年間はどのような1年だったでしょうか？過ぎてみればあっという間だったと思います。しかし、振り返ることはできても元に戻ることにはできません。来年が今年以上に良い年になるように、1年の締めくくりの12月には、しっかりと振り返りをしてほしいと思っています。いい時も、ちょっと失敗しちゃった時もあったと思います。しかし、経験したことで無駄なことってほとんどないと思っています。多くの経験を積むことは、人として大きく成長する糧となります。これからも失敗を恐れず多くのことを経験し、大きな成長につながることに期待しています。そのための振り返りを家族そろっていただきたいと思っています。